

平成25年度 事業報告

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

事業概要

本年度は、新公益法人3年目となり、シルバー人材センター理念に基づき、公益性を重点に「高齢者の福祉の増進・地域社会の健全な発展」を目的とする事業運営に努めました。

国内の経済が回復傾向へ転じようとする時、国庫補助金の厳しい状況並びに大島にあっては台風26号による未曾有の土砂災害が発生し、多くの人命を失い家屋等が被災し混沌としたなか、当年度の契約実績については民間部門が減少となりましたが、公共部門は関係機関の配慮、会員・役職員の尽力により、増額に転じ全体で1億5千7百万円台となり対前年度比1.2ポイント増とし、過去5年で最高となりました。

平成25年度事業実績一覧表

(単位円)

		平成25年度	平成24年度	比 較
契 約 金 額	公共	122,230,863	119,739,530	2,491,333
	民間	35,413,525	36,085,932	△ 672,407
	合計	157,644,388	155,825,462	1,818,926
受 託 件 数	公共	616	575	41
	民間	622	634	△ 12
	合計	1,238	1,209	29
就 業 延 実 人 員	公共	3,349	3,130	219
	民間	1,972	1,960	12
	合計	5,321	5,090	231
就 業 延 日 人 員	公共	19,755	20,285	△ 530
	民間	6,202	6,489	△ 287
	合計	25,957	26,774	△ 817
配 分 金	公共	106,733,622	104,799,183	1,934,439
	民間	30,848,178	31,018,530	△ 170,352
	合計	137,581,800	135,817,713	1,764,087
材 料 費	公共	5,723,220	5,368,919	354,301
	民間	1,799,434	2,307,059	△ 507,625
	合計	7,522,654	7,675,978	△ 153,324
事 務 費	公共	9,774,021	9,571,428	202,593
	民間	2,765,913	2,760,343	5,570
	合計	12,539,934	12,331,771	208,163

事業報告

1. 就業開拓提供事業

(1) 国・東京都及び大島町・関係諸団体に対して、日常的に連携を深める事により理解と信頼が得られ、受託件数増につながりました。

民間部門の会社・商店等に対する実績は、新規な就業開拓・相談を進めるなかで、適正就業に照らし対応を図るため伸ばす事が出来ませんが、シルバーニュース・ホームページ・リーフレット・ボランティア活動等の効果により微減にとどめる事が出来ました。

(2) 受託件数横ばいのなかで、目標である就労率は 75%以上ではありますが、前年度実績 72%に対し 2ポイント改善し 74%となりました。

この事の大きな要因は、適正な就業・公平化を役職員一体となり目指した事によりですが、今後においても、法令遵守を図り、地域の信頼を得るよう努力します。

(3) 独自事業の新企画並びにあしたば佃煮の事業については、事業委員会において引続き検討するなか、家事援助サービス事業導入に向けて大島町等と協議を進めています。

2. 普及啓発事業

(1) シルバー事業を広くPRするための広報紙「シルバーニュース」の発行で、事業内容を中心に[こんな仕事が出来ますよ]を掲載し、就業場所の開拓に繋げる努力と共に、リーフレットを作成し全世帯に配布する事による一層の開拓を図りました。

(2) 会員拡大も[シルバーで一緒に働きませんか]と60歳以上の島内高齢者に、広報紙・リーフレット等で呼びかける事により、17名の入会が実現しました。

(3) 社会奉仕活動については、大島町や各種団体の主催した海浜清掃・夏まつり・国体相撲競技会の歓送迎等のイベント会場で協力し活動する事により、イベント主催者・住民の皆様からご理解と評価をいただきました。

(4) 当センター主催事業「手作り作品展」及び「ゲートボール大会」につきましても、土砂災害の影響によりやむなく中止としました。

3. 研修・講習事業

- (1) 東京しごと財団・第2ブロック主催の各種研修会に役職員が受講し、報告する事により、目標である情報の共有化を図り、安全就業・適正な就業を図る事が出来ましたが、更に検討を重ねます。
- (2) 就業に必要な知識や技能を習得することにより、質の高いサービス提供を図るため、草刈機・チェーンソー取扱の自主講習会を会員17名の参加のもと開催する事が出来ました。

4. 調査研究事業

- (1) 関係法令及び定款等を遵守し、適正な就業・請負契約の推進を図り、安全な就業活動を心掛けました。
また、理事会・各委員会・事務局職員の連携により、事業運営の強化を図る事が出来ました。
- (2) 「中・長期計画」策定の準備を引続き行うなか、短期的には家事援助サービス事業導入に向けた検討を始めました。

5. 相談事業

- (1) 就労及び入会相談窓口は事務局応接コーナーでは毎日、大島町及び関係団体等のイベント会場でも随時行いました。
- (2) 会員増強を図るなかで新入会員となった13名の方々が、希望する仕事に沿ったグループ就業をしています。

6. 安全就業推進事業

- (1) 本年度においては事故ゼロを目標に掲げ、日常的なミーティング及び就労前打合せ等で、作業手順の確認と事務局事業班の就業場所パトロールで、安全チェックを心掛けながら、日常的に安全就業の徹底を図る事により、重大事故の発生を防ぐ事が出来ました。
- (2) 昨年に引続き、安全管理委員会の機能強化を図りました。
委員会を年2回開催及び安全パトロールを実施するなかで、熱中症対策・就労現場の厳しい実態の情報交換と今後の対応の協議を重ね、広報紙等による啓発、入会時の安全基準の遵守等の推進により事故ゼロの目標を達成する事が出来ました。

- (3) 東京都のセンターにおける、平成25年度シルバー傷害保険に関する死亡事故の件数は「0」。平成8年度以来17年ぶりという事であり、今後も、東京しごと財団及び安全就業パトロール指導員との連携を図り、事故の未然防止に務めます。

7. 法人運営

- (1) 公益法人の課題として「組織の権限と責任の明確化」・「透明性の確保」・「ガバナンス」をあげ、理事会・監事・会員の三権分立を確立して法令遵守にそった活動に取り組みました。
- (2) 業務執行機関としての理事会の充実においては、意思決定機関として透明性の高い組織運営に務めました。
- (3) 監事の監査機能については、監査機関としてその機能を充実してきました。

そのうえで、事務局や三役だけでなく理事会による組織経営の視点に立った運営に務め、風通しの良い外部に開かれた組織運営に務めました。